鎮守の杜

神吉八幡神社
西神吉町宮前
電話432-5547

お子様のすこやかな成長を祈願して・・・
一組ずつ丁寧なご祈祷

七五三まいり

十一月三日（土）・四日（日）
十日（土）・十一日（日）
午前十時～午後三時

右記以外をご希望の方は、日時をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

神吉八幡神社　喜多山まで
（電話　〇七九―四三二―五五四七）

七五三の由来と意味合い

七五三の儀式は平安時代から始まったと言われています。三歳は「髪置（かみおき）」の儀、男女とも三歳で髪を伸ばし始めます。五歳は「袴着（はかまぎ）」の儀　、男の子が五歳で袴を着け始めます。七歳は「帯解（おびとき）」の儀、女の子が七歳で帯を締める着物にかえます。このような儀式が定まってきたのは、江戸時代からです。当時、武家に広まったこれらの儀式は、その後しだいに一般庶民の間にも広まり、「七五三」という言葉が使われだしたのは明治になってからの事のようです。現在では、今まで無事に 成長した事を感謝し、今後も健やかであるように祈願する年中行事となっております。

☆　授与品

千歳飴・知恵おこし・七五三お守り・七五三絵馬／七五三お土産セット・風船

https://kankihachiman.wixsite.com/kakogawa-shrine
神吉八幡神社　ホームページ